

ななくり

The goal of our education is to clear 70 points in total

田迎小学校 学校だより

文責 藤本

第 7 号

2021.11.18



心かがやけ・読書月間

人間が賢くなる方法は、『人』に出会う、『本』を読む、『旅』に出る…に尽きると思います。

これは、ライフネット生命保険創業者で、今は立命館アジア太平洋大学学長の出口治明さんの言葉です。

読書については多くの人が大切さを語っています。

力一杯生きるには沢山の本を読むこと。一回限りの人生、道を誤らせないように歩むには、先哲に学ぶのが最短距離。 越智直正（「靴下屋」創業者）

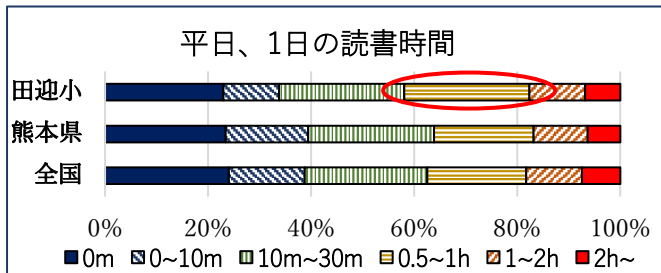
今月は「心かがやけ月間」でもあり「読書月間」でもあります。

読書といっても悪書ばかり読んでいたらとんでもないことになる。どういう本を読むかで人生が決まる。 数土文夫（JFEホールディングス名誉顧問）

どのような本を読むのかは、とても大事です。

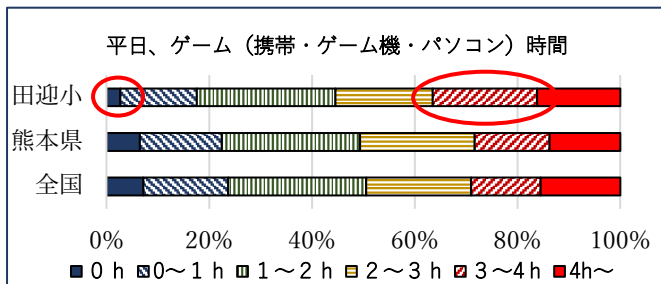
田迎小学校で毎月取り組んでいる「命を考える日」は、いろいろな先生が命について考える話をされます。今月は、5年生の川端先生の「かがやいている『いのちのまつり』」という絵本の読み聞かせがありました。自他の人権を大事にする、命を大事にする、そして読書に親しむ…といった取り組みでした。

では、本校児童はどのような読書ライフを送っているのでしょうか？今年の全国学力学習状況調査（6年生）では、次のような結果になっていました。



「0分」「2時間以上」という割合は、ほとんど変わりませんが、「0.5~1時間」の割合が 県・国よりも大きいのが特徴的です。本校には毎日30分以上読書をする子供が4割以上はいるようです。

一方、ゲーム時間はどうでしょうか？



残念ながら、県・全国と比べて「0時間」は少なく「3~4時間」が多いという結果になっています。

それにしても、毎日3時間以上ゲームする子供が30%以上いるのも怖い話です。（先月号参照）

「ゲームの時間を減らして、読書の時間を！」と思うのは大人ばかりなのでしょう…。

かく言う私も恥ずかしながら、学生時代は漫画以外全く読書をしていない人間でした。

信じられないかもしれませんが、大学に入るまで、図書室に入ることはもちろん、図書の本を借りるということをして一度もしたことがありません。

その代わりに、漫画だけはしっかり読みました。週刊少年ジャンプは中学生まで欠かさず購入しましたし、「ドカベン」なども全巻揃えるオタク(?)でした。漢字や故事成語も漫画で学んでいたかもしれません。大学入試で「現国」は得意で、勉強しなくても点数はとれていましたから…（漫画も捨てたもんじゃない?）

定番の夏休みの「読書感想文」はどうしていたかという、「あとがき」だけを読んで、なんとなく「こんな話だろう」と推測しながら適当に原稿用紙を埋めていました。（大学生まで!）まさに、中学校で国語の教鞭をとっておられた教頭先生が聞いたら、卒倒するような学生だったのです。

ですから、休み時間に図書室に本を借りに来る子供たちを見ると純粋に尊敬してしまいます。

それでも教職についてからは、必要に駆られ、いろんなジャンルの本を読むようになりました。最初は、専門書などが多かったのですが、徐々に小説等も手に取るようになりました。公民館の図書館で毎週3冊借りるような時期もあり、人生における「総読書量」は人並みになってきたのではないかと思います。

デジタル化が進み、「未来を推測する力」「未来に対応する力」と同時に「人権を大事にして、人とかかわる力」「困難にくじげない力」を高めることが社会や学校、家庭に求められています。

心かがやけ月間だからこそ、自分の生き方を変える…とまではいなくても、「よりよく生きていくヒント」が得られるような1冊に出会えるといいなあと思います。

人間というのは、いい書物を読むと翌日、顔が変わる。いい本を読まなきゃいけないですね。

井上靖（芥川賞作家）

今のところ、感染症も落ち着いています。ご家族でショッピングに行く際は、ちょっと本屋さんをのぞいてみるのもいいかもしれませんね。

今年も「校区老人会」さまより、たくさんの方の「手縫い雑巾」を寄贈していただきました。いつも本当にありがとうございます。

11/6（土）の運動会では、雨の中、最後までご支援ご協力いただきありがとうございました。次年度は、本年度の反省を生かし、時期や方法など、さらに安全対策を万全にした運動会運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。